

国際教室での授業展開の一例 (小学校国語科 第1学年「みぶりで つたえる」より)

学 習 活 動	支 援 や 留 意 点	日 本 語 表 現
<p>1. 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2. 段落4を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人読み ・一斉読み ・隠し読み <p>3. 「きもちをつよくあらわすみぶりに」について、発表する。</p> <p>* 「うれしい」「たのしい」「かなしい」「こまった」ときは、どんなときかなあ。</p> <p>* どんなみぶりをしよう？</p> <p>* 発表の仕方を話し合おう。</p> <p>4. 「きもちはみぶりであらわすほうがよかつたわる」ことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○リライト教材を使う。 ○一人読みでは、「文字読み」をすることで指差した文字と音を一致させたい。 ○一人読みでの「はさみ読み」を徹底させることでことばを意識して読ませたい。 ○一斉読みでは、友だちの読みを聞きながら声を合わせて読ませたい。 ○日本語の発音やリズムに気をつけて読ませたい。 ○スマートボードで隠したことばを確認しながら読ませたい。 ○どんな時にどんな気持ちになるか、前時にワークシートに書いた自分の考えをもとに話し合わせたい。 ○4人1グループで考えを話し合わせ、「きもちをあらわすみぶり」を考えさせたい。 ○発表の仕方についても話し合わせ、練習させたい。 ○話し合いの時にグループごとにまわり、発表の仕方が分からない場合は自分の体験をもとに身ぶりを考えさせ、動作化させたい。 ○大きな声ではきはきと発表させたい。 ○学習した「みぶりのよさ」について、本文の叙述をもとにまとめたい。 ○時間があれば、「このように」以下の文をワークシートに書き込ませたい。 ○書き込みをするときは、声を出しながら文字を書かせたい。 ○書いたことばをリライト教材と照らし合わせて確かめさせたい。 	<p>リライト教材の活用。 音読で、文字や、ことばのまとまりを意識させる。</p> <p>学習活動にも、子どもどうしの学び合いの場面をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○～したときに・・・きもちになります。 ○～したときのみぶりで。 ○今から・・・グループの発表をします。 ○これで・・・グループの発表を終わります。 <p>学ばせたい日本語表現をおさえる。</p> <p>本文に戻って、読みとる力を育てる。</p>